

（西暦） 2026年 4月 17日

関節リウマチの治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた

## 臨床研究についてのお知らせ

はじめに

関節リウマチは慢性炎症性疾患であり、現在は新たな抗リウマチ薬の普及により多くの患者が外来で治療を継続しています。一方で、免疫抑制療法や高齢化に伴い、感染症、骨折、心血管疾患などを契機に入院を要する患者も少なくありません。

本研究は、当院において外来治療を受けている関節リウマチ患者のうち、入院を要した患者の入院原因を明らかにし、その結果を基に、入院病棟における関節リウマチ患者の重症化予防、合併症管理、退院支援および再入院予防に活かすための看護実践へ活かすことを目的としています。

対象

西暦2022年4月1日より2026年3月31日までの間に、当院リウマチ・膠原病内科外来にて関節リウマチの治療のため通院し、当院へ入院した方

### 【試料・診療情報等の項目】

試料を用いることはありません。

診療情報等：年齢、性別、使用薬剤（メトトレキサート、生物学的製剤、JAK阻害薬、ステロイド等）、入院時主病名、入院原因分類（感染症、心血管疾患、骨折、RA増悪、薬剤関連有害事象など）

### 【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、9CD病棟 神崎までご連絡をお願いします。

研究課題名

入院治療を要する関節リウマチ患者の実態調査

研究内容

入院原因を分類し、その割合を算出します。

必要に応じて年齢層別や薬剤使用状況別に比較検討を行います。

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。

参考書式1 情報公開文書（浜の町）

4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

#### 研究期間

院長承認日～2026年10月31日（予定）

#### 医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により関節リウマチ患者の入院契機の実態が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

#### 研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 看護部

【当院での研究責任者】 所属 9CD 病棟 職名 看護部主任 氏名 神崎 寛志

#### 【利用する者の範囲】

所属 8CD 病棟 職名 看護師 氏名 原口 智江  
所属 8CD 病棟 職名 看護部師長 氏名 近藤 弘子  
所属 診療部 職名 リウマチ・膠原病内科医師 氏名 河野 正太郎

#### お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

氏名：神崎寛志 所属：9CD 病棟 連絡先：092-721-0831（代表）

以上